(別添) イラク、シリア及び周辺国の人道危機に対する支援

「イラク、シリア及び周辺国の人道危機に対する支援は、①イラク、シリア及び周辺国の人道危機に対する支援が1,500万ドル、②シリア保健分野強化支援計画が約1,000万ドルの合計2,500万ドルであり、その詳細は以下のとおりです。

1. イラク、シリア及び周辺国（ヨルダン・レバノン）の人道危機に対する緊急無償資金協力

(1) 8日、我が国政府は、イラク・シリア及び周辺国の人道危機に対応する人道支援のため、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国連開発計画（UNDP）、パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）及び国連児童基金（UNICEF）を通じて、約1,500万ドル（約16億5,000万円）の緊急無償資金協力を実施することを決定しました。

(2) 2017年7月にはイラクのモースルが解放され、シリアではラッカの解放作戦が進む中、人道状況は不安定な状態です。このような状況を踏まえ、我が国政府はイラク、シリア及び周辺国（ヨルダン、レバノン）において支援を必要とする人々に対し、シェルター、日用品、がれき処理・生計向上、医療関連等の人道支援を実施します。

2. シリア保健分野強化支援計画

(1) 5日、我が国政府は、シリアの国内避難民を含む市民に対する緊急・人道的性格を有する支援として、世界保健機関（WHO）を通じて、11.7億円（約1,000万ドル）の無償資金協力を実施することを決定しました。

(2) シリアは2011年3月以降の政府と反政府勢力との間の暴力的衝突により、保健体制も脆弱なものになっています。この様な状況を踏まえ、我が国政府はシリア市民及び国内避難民に対し、医薬品の供与等保健分野での支援を実施します。

(参考)「イラク、シリア及び周辺国の人道危機に対する緊急無償資金協力」の国別支援額・内容

イラク:450万ドル(国内避難民に対するUNHCRを通じたシェルター、日用品配布支援)

シリア:400万ドル(UNDPを通じたがれき処理・生計支援)

ヨルダン:350万ドル(UNHCR及びUNICEFを通じたシリア避難民に対する医療関連支援)

レバノン:300万ドル(UNRWAを通じたパレスチナ難民に対する日用品配布支援)